

【県立埋蔵文化財センター ワクワク考古楽学習指導案】

令和3年11月25日（木）3校時

出水市立上場小学校 5・6年生8名

県立埋蔵文化財センター

隈元・上浦

1 3校時（10:40～11:25）指導案

（1）目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人たちの暮らしについて理解と関心を深めるようにする。

（2）実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。	15	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。 ○ 本年度事業の廃寺についての説明を簡潔に行う。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
	2 本時の目標をつかむ。 わたしたちの地域にある、遺跡や文化財について知ろう。			
展開	3 鹿児島を代表する上野原遺跡について知る。	10	○ パワーポイントを使い、上野原遺跡の紹介をする。	○ 縄文時代早期の土器（レプリカ）・石器等（埋文キット）ら
	4 校内・校区内にある遺跡について理解を深める。 ① 上場小近辺の遺跡について ② 上場遺跡について ③ 遺物に触れる	15	○ 上場小の近くには、多くの遺跡があり、校庭に県内でも非常に古い上場遺跡があることを知る。 ○ 特に旧石器時代の遺物・遺構が発見されたことを知る。 ○ 出土遺物に実際に触れ、感触や重さ、加工の跡などを体感する。	○ 周辺遺跡地図 ○ 年表 ○ 埋文キット
終末	5 本時のまとめをする。 自分たちの地域の歴史的な背景や先人達の暮らしについて考える。	5	○ 3万年以上前から、自分たちの地域には人々が暮らしていて、連綿と人々の生活が営まれてきたことを知る。	

（3）評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人たちの暮らしについて理解できたか。

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和3年11月25日（木）4校時
 出水市立上場小学校 1～6年生15名
 県立埋蔵文化財センター
 隈元・上浦・尾川

2 4校時（11:35～12:20）指導案

（1）目標

縄文の森の職員による話を聞いたり火起こし体験をすることにより、縄文時代の暮らしぶりを知り、地元にある遺跡・文化財により深く興味・関心を持つようにする。

（2）実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 体験活動の概要及び注意事項を聞く。	10	○ 諸注意事項を簡潔に説明する。	(担当) 隈元
	2 2人1組のグループを作り、分かれて活動に入る。		・火起こしをするので、やけど等に気をつける。	
展開	3 火起こし体験をする。 ・火起こしの実際を見て、学習する。 ・説明を聞いたら、火起こしを行う。	20	○ 安全面に気をつけ、事故のないように配慮する。	(担当) 隈元・尾川 火起こし体験道具セット（8セット程度）
	4 知りたいこと、疑問に思うことについて、職員に質問する。	10	○ あらかじめ質問したいことや疑問に思っていることを考えておく。	(担当) 埋文職員
終末	5 上野原縄文の森について話を聞く。	5	○ 縄文の森で行われているイベントなどの紹介をする。	(担当) 尾川

（3）評価

- ・積極的に体験活動に参加し、興味・関心をもって取り組むことができたか。
- ・縄文の森の職員による話を聞いたり火起こし体験をすることにより、縄文時代の暮らしぶりを知り、地元にある遺跡・文化財により深く興味・関心を持つことができたか。